

## MotoGP 日本GP@もてぎ Team Suzuki MotoGPのJ.ホプキンス 今シーズン最上位の5位入賞！

(9/17-18)

9月17日、18日とMotoGP(世界ロードレース選手権)がツインリンクもてぎで行われた。フリー走行の行われた金曜日から秋晴れが広がり、レース期間中もずっと良い天気恵まれた。

17日に行われた予選では、チームスズキMotoGP(Motul)のジョン・ホプキンスが2番手のタイムをたたき出し、今シーズン最高の最前列スタートを獲得。ポイントリーダーのV.ロッシ(ゴロワーズ・ヤマハ-Motul)はなかなかセッティングが決まらず最後のアタックにコンマ数秒間に合わずなんと11番手スタート。

決勝当日も快晴に恵まれ、気温もレースウィーク最高となる34℃、路面温度は39℃にまで上がった。14時に始まったレースは、メランドリ(HONDA)がホールショットを奪い、カピロッシ(DUCATI)、ピアッジ(HONDA)と続く。ホプキンスは4番手あたりからスタートするが、徐々に順位を下げ8番手まで落ちる。11番グリッドからスタートしたロッシは4周目までには4位まで浮上、先行の3台のトップグループを追う展開になる。メランドリが3位まで後退し、ロッシとの差が詰まった13周目、ロッシは前を走るメランドリに接触。2台共転倒。トップはピアッジとカピロッシの一騎打ちとなり、終盤カピロッシがトップに浮上。そのまま逃げ切った。

ホプキンスはマシントラブルや転倒が相次ぐ波乱のレースを走りきり、自身GPキャリアの最高位である5位でフィニッシュした。ロバーツも完走、8位でフィニッシュした。ロッシのチームメイト、エドワーズは6位入賞。

順位	ライダー	チーム	マシン	タイム
1	L.カピロッシ	Ducati Marlboro Team	Ducati	43'30.499
2	M.ピアッジ	Repsol Honda Team	Honda	+1.479
3	玉田 誠	Konica Minolta Honda	Honda	+16.227
4	C.チェカ	Ducati Marlboro Team	Ducati	+22.148
5	J.ホプキンス	Team Suzuki MotoGP	Suzuki	+33.212
6	C.エドワーズ	Gauloises Yamaha Team	Yamaha	+34.915
7	N.ヘイデン	Repsol Honda Team	Honda	+45.894
8	K.ロバーツ	Team Suzuki MotoGP	Suzuki	+56.498

YAMAHA,SUZUKIの各ワークスチームはオイルをはじめ各種MOTUL商品を使用しています。(左写真参照)



5位入賞のJ.ホプキンス



ゴロワーズ・ヤマハ(Motul)のV.ロッシ



MOTUL Motowashでパーツを洗う  
フォトゥルナ・ヤマハのスタッフ



ゴロワーズ・ヤマハのピット



MOTUL商品が並ぶフォトゥルナ・  
ヤマハのピット